〇選択球技

期

(パレーボール、パスケット ボール、卓球、パドミント ン、サッカー、ソフトテニス、 ソフトボール)

令和7年度 年間指導計画

整理番号

20

考査

重み付け

考査外

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

a: 得意·不得意に関わらず意欲的に取り組む

b: 自分の課題を把握している。 c:合理的に運動ができる。

•行動観察 ・記録シート ・スキルテスト

ことができる。

教 科	保健体育	科目	体育		単位数	立数 2 学年·学科		2学年•全学科
教科書			副教材					

学習 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊か 目標 なスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指します。

学習 〇2クラスまたは1クラスの共修での実技となります。 〇選択球技は屋内4種目、屋外3種目の中から期ごとに選択します。 〇体育理論は教科書とパワーポイントを使い学習します。

								1					
		評価の観点	評価の観点の趣旨			前	知識・技能(技術)	100% 40%		100% 40%			
学習評								期中	思考・判断・表現	30%	0%	30%	
		 知識・技能	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く 味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるように するため、運動の多様性や体力の必要性について理解するととも					主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%		
	а						1.0		100%	6 0%	100%		
			に、技能を身に付けている。					前	知識・技能(技術)	40%		40%	
			生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身につけている。					期	思考・判断・表現	30%	0%	30%	
	 -	 思考·判断·表現						末	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	
	b	心行・刊例・衣坑 								100%	6 0%	100%	
価									知識・技能(技術)	40%	0%	40%	
	・ 主体的に学習に取り組 む態度		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互い				期中	思考·判断·表現	30%	0%	30%		
			に協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを 大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保 して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身につけてい					間	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	
										100%		100%	
			る。					後	知識・技能(技術)	40%		40%	
								期末	思考・判断・表現	30%		30%	
		単 元 名	学習内容	 	五の領	日占			主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	
学期		(題材)	チョウ谷 (小単元)	_	ш∪л <u>≇</u> b		単記	元の	評価規準		評価方法		
			・学科としてのまとまりや、寮生活・ 実習等で規律を守るために集団行	0	0	0							
前期中間	0	集団行動 本つくり運動 坴上競技	動を学びます。 ・体ほぐしや体力を高める運動など様々な体つくりの運動を学びます。 ・自分の体力を知るためにスポーツテストを行い、評価し、今後の体力作りに役立てます。	0	0		a:集団としてのまとまりや、規律を守ることができる。準備・運営・片付けに積極的に取り組むことができる。 b:安全に配慮した行動ができる。 c:自分の体力の現状を把握し向上に取り組むことができる。						
前	(バ	選択球技 レーボール、バスケット ール、卓球、バドミント	・生涯にわたって楽しめそうな球技を選択し、技能を高め、ルールを学びます。・後期末まで3つの型を選択します。	0	0	0	a: 得意・不得意に関わらず意欲的に取り組む ことができる。 ・行動観察						
		サッカー、ソフトテニス、		_	_		b:自分の課題を把握している。				・記録シート ・スキルテスト		
	ソフ	アトボール)	・3年間にわたり、「できる」球技を最低2つは身につけます。	0	0	O	c:合理的に運動ができる。						
後期中間		選択球技 シレーボール、バスケット	・生涯にわたって楽しむことができる 種目を選択し学びます。	0	0	0	a:仲間と連携してできる。	:仲間と連携して動きを高めてゲームが展開 ごきる。					
	ボーン、ソフ	ール、卓球、パドミント サッカー、ソフトテニス、 パ・ボール) 本育理論	・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツについて学習します。	0	0	0	できる。 c:スポーツの歴史	把握し運動に取り組むことが 史、文化的特性や現代のス ついて理解できている。			・行動観察・記録シート・スキルテスト		
			・生涯にわたって楽しむことができる 種目を選択し学びます。	0	0	0	。	11日本	こが音効的に取り組	+ 、			